



TITLE:

表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙ほか. 京都帝国大学文学部考古学研究報告 1927, 10

ISSUE DATE:

1927-03-15

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/181626>

RIGHT:

京都帝國大學文學部考古學研究報告 第十冊

出雲上代玉作遺物の研究

大正十四年—昭和二年

京都帝國大學

京都帝國大學文學部考古學研究報告 第十冊

出雲上代玉作遺物の研究

大正十四年—昭和二年

京都帝國大學

序　　言

大正十四年一月余輩は我が考古學教室の島田貞彦梅原末治兩君の外寫眞部員鈴木増太郎君と共に出雲玉造忌部大庭等の諸地に於ける上代玉作の遺跡と遺物に就きて調査する所あり、留まること凡そ一週日此の間余輩自ら大庭村に至るの遠なかりしも、上記諸氏の努力と勵精とに由りて、出雲に於ける玉作の考古學的調査に關して、略ぼ之を完成することを得たり。即ち本冊は此の調査に本ける研究を輯録するものに他ならず。但だ本稿を完了するに先ちて、其の調査の遺漏二三を補足せんが爲め、本學講師文學士小牧實繁君と島田貞彦君とを煩はして、再び實地に就き之が觀察を依頼する所ありき。

梅原末治君は本報告起草に先ち歐洲に出遊したるを以て、當時同君の作製に係る記録圖書は、凡て島田君及び余輩の手に由りて整理せらるゝことゝなり、同君自ら筆を執るを得ざりしは、余輩の深く遺憾とする所なるも、其の精細なる調査資料は悉く收めて本冊に在り。又た同君は滯英中二三の通信に由りて、本冊の資料を補足する所ありき。

余輩は出雲玉作諸遺跡の調査に際して、地方有志諸氏の深大なる厚意と援助を忝くせるを銘記せざるを得ず。即ち玉造湯神社々掌遠藤貴愛君を始めとし、忌部神社々掌和田勇君、六所神社々司吉岡清衛君、大庭村勝部愛之助君の如きは其の最なるものなり。又た本報告書の起草に當りて參考引用せる文獻は、悉く各章節下に掲記せるも、余輩は文學士辰馬悅藏君の『我國先史及原史時代玉類の考古學的研究』〔京都帝國大學卒業論文未刊行〕及び野津左馬之助君の『島

根縣史』に負ふ所多きを特記し、以上諸氏に對して感謝の意を表せんと欲す。

本冊附載する所の「日本發見磨製石鏃及短劍聚成」は、本教室に在りて、主として梅原末治君の手に由りて編纂せられ、其後島田貞彦君の増修せるものに係る。始め第九冊に附録す可かりしを都合に由りて本冊に收めるものなり。

最後に本報告書は從來岩波書店に其の發賣を委託せしも、本冊以後尾高豐作君の厚意に由り、其の印刷發行を擧げて、東京刀江書院に一任することを得たるは、余輩の深く欣ぶ所なり。余輩は又た此の機會に際して、村山龍平氏、本山彦一氏等が從來本報告書の發行に對して示されたる寛大なる援助に向つて、再び深甚なる謝意を表す。

大正十五年三月

京都帝國大學文學部考古學教室に於いて

濱 田 耕 作

〔附言〕本冊印刷半にして、新に日本及朝鮮發見玉製勾玉類比重測定表を附載する事となりしが、之が測定調査は島田貞彦君を煩はす所多く、又た朝鮮總督府博物館囑託小泉顯夫、東京帝國大學文學部囑託田澤金吾兩君の援助を得たる所多きのみならず、特に朝鮮所在のものは小泉君の厚意に由りて之を完成することを得たるは、余輩の深謝に堪えざる所なり。なほ此等資料の調査に際して各種の便宜を與へられたる石上神宮及び東京帝室博物館奈良帝室博物館、東京帝國大學人類學教室、諸陵寮、朝鮮總督府博物館員諸氏に向つて謝意を表す。

目次

出雲に於ける上代玉作の遺跡と遺物の研究

一	序説	一頁
二	玉作遺跡地	四
(イ)	玉造と玉造湯神社	四
(ロ)	玉造村の遺物發見地	七
(ハ)	忌部村と大庭村の遺跡	二
三	玉作遺物	三
(イ)	玉磨砥石	四
(ロ)	玉の半成品と破損品	二四
四	玉の製作法	三五
(イ)	現代の攻玉法	三五
(ロ)	古代の攻玉法(一)	四三
(ハ)	古代の攻玉法(二)	五
五	後論——日本に於ける硬玉、軟玉問題	六二

附表 日本及朝鮮發見玉製勾玉類比重測定表

一	日本石器時代遺跡發見品	八
二	日本古墳等發見品	八
三	朝鮮古新羅古墳等發見品	七

附錄	日本發見磨製石鏃聚成表	二五
----	-------------	-------	----

	日本發見磨製石劍聚成表	二
--	-------------	-------	---

圖版目次

第一	玉湯村玉造附近展望	四一五
第二	玉造湯神社正面及前景	六
第三	同社南側面	六
第四	玉造村別所谷及玉ノ宮大連塚	七八
第五	同玉ノ宮遠望及別所谷遠望	七八
第六	同玉宮神社舊址及宮垣木枯志神社舊址	七八
第七	同花仙山クラ、迫原石產地及採掘廢坑	八九
第八	同玉湯村北方湯町及宍道湖遠望	六九
第九	同德連場古墳及烏場古墳石棺	九一〇
第一〇	同宮垣小圓山遠望及同古墳石室	九一〇
第一一	同築山古墳石棺及岩屋寺橫穴	九一〇
第一二	同築山古墳發見漢式鏡及南迫發見土製品	一〇
第一三	忌部村忌部神社及下忌部平松附近遠景	一〇二
第一四	大庭村六所神社及同社背後砥石發見地	三
第一五	玉造村發見勾玉半成品(一)	二四一三四
第一六	同上(二)	二四一三四

對本
開文
頁

第一七	同上(三)	二四—二四
第一八	同上(四)	二四—二四
第一九	同發見勾玉完成品	二四—二四
第二〇	同發見管玉完成及半成品	二四—二四
第二一	同發見丸玉平玉完成及半成品	二四—二四
第二二	同發見水晶製勾玉、切子玉、棗玉等完成及半成品	二四—二四
第二三	忌部村發見勾玉、切子玉等半成品及玉砥石	二四—二四
第二四	玉造村發見外磨筋砥石(一)	一四—一三
第二五	同上(二)	一四—一三
第二六	同上(三)	一四—一三
第二七	同發見外磨大窪砥石	一四—一三
第二八	同發見內磨砥石	一四—一三
第二九	大庭村發見外磨筋砥石	一四—一三
第三〇	大庭村及乃木村發見外磨筋砥石及大窪砥石	一四—一三
第三一	忌部村發見外磨筋砥石	一四—一三
第三二	玉造現代攻玉實景(一)	一四—一三
第三三	同上(二)	三五—一六
第三四	同上(三)	三五—一六

第三五	同上(四)	三五—六
第三六	同上(五)	三五—六
第三七	同上(六)	三五—六
第三八	同上(七)	三五—六
第三九	玉造現代攻玉使用器具及製作勾玉管玉	三五—六
卷末	出雲玉造及忌部地方玉作遺跡地圖 <small>(陸地測量部二万五千分一地圖に據り、小野三正君製圖)</small>	三五—六

附錄圖版

第一	日本發見磨製石鏃聚成圖	一〇五
第二	同上磨製石劍聚成圖	一一
第三	日本發見磨製石鏃及石劍	一〇五—一一

挿圖目次

第一圖	出雲國東北部地圖 <small>(小野三正君製圖)</small>	六七
第二圖	玉造村德連場鳥場及小丸山古墳石棺及石室圖 <small>(島田)</small>	一〇二
第三圖	玉造村大門小路及岩屋寺橫穴圖 <small>(同上)</small>	一〇二
第四圖	出雲發見玉砥石圖 <small>(一)(島田梅原)</small>	二三—四
第五圖	同上(二)	二三—四

第六圖	伯耆國西伯郡宇田川村及所子川發見玉砥石 <small>(山陰徴古館藏)</small>	一四—一五
第七圖	大阪市天滿天神社境內狐の爪磨き石 <small>(大道弘雄君寄贈寫眞)</small>	一四—一五
第八圖	駿河國沼津町日枝神社境內建石 <small>(柴田常惠君寄贈寫眞)</small>	一四—一五
第九圖	佛國ソナム州ベーンクル發見砂岩製砥石圖 <small>(モルチエリ氏著書所載)</small>	一五
第十圖	攜帶用砥石圖 <small>(田濱)</small> (1)遠江國赤佐發見(2)瑞典トレンスム發見 <small>(モルチエリ氏著書所載)</small>	一六
第十一圖	水晶下げ玉圖(1)大和岩橋發見(2)下總山王發見 <small>(辰馬君原圖)</small> (3)出雲安來發見 <small>(同上)</small> (4)備前可眞發見 <small>(同上)</small>	二六
第十二圖	勾玉管玉、切子玉部位名稱圖 <small>(田濱)</small>	三四
第十三圖	出雲發見玉類未成品圖(一) <small>(島田梅原)</small>	三四—三五
第十四圖	同上(二)	三四—三五
第十五圖	同上(三)	三四—三五
第十六圖	北京攻玉工場作業實景(一) <small>(岩田寫眞)</small>	四〇—四一
第十七圖	同上(二)	四〇—四一
第十八圖	ズニー印度人玉穿孔圖 <small>(バイフエエル氏著書所載)</small>	四〇
第十九圖	丹後函石及伯耆逢坂發見玉類圖 <small>(田濱梅原)</small>	四五
第二十圖	勾玉各種穿孔型式圖 <small>(田濱)</small>	四九
第廿一圖	正倉院御物瑪瑙勾玉圖 <small>(島田)</small>	五〇
第廿二圖	野津氏勾玉型式分類圖 <small>(島根縣史所載)</small>	五一

第廿三圖	管玉各種穿孔形式圖 <small>(田濱)</small>	五
第廿四圖	埃及ナカダ發見勾玉形裝飾品圖 <small>(上同)</small>	七
第廿五圖	正倉院御物及慶州金冠塚發見朝鮮式勾玉圖 <small>(梅原)</small>	六
第廿六圖	日本及朝鮮發見勾玉及管玉類 <small>(京都帝國大學文學部所藏品)</small>	六—六
第廿七圖	大和石上神宮禁足地發見勾玉及管玉類	六—九
第廿八圖	同上圖 <small>(小泉君及濱田)</small>	六—九
第廿九圖	日本石器時代遺跡發見玉製勾玉類圖 <small>(田澤君原圖濱田影寫)</small>	六—九
第三十圖	日本古墳發見玉製勾玉類圖 <small>(上同)</small>	六—九
第卅一圖	同上 <small>(二)(上同)</small>	六—九
第卅二圖	同上 <small>(三)(上同)</small>	六—九
第卅三圖	朝鮮新羅古墳等發見玉製勾玉類圖 <small>(一)(小泉君及梅原原圖濱田影寫)</small>	六—九
第卅四圖	同上 <small>(二)(上同)</small>	六—九
第卅五圖	同上 <small>(三)(上同)</small>	六—九
第卅六圖	日本發玉製見勾玉類 <small>(一)</small>	六—九
第卅七圖	同上 <small>(二)</small>	六—九
第卅八圖	日本及朝鮮發見玉製勾玉類	六—九
第卅九圖	朝鮮新羅古墳發見玉製勾玉類 <small>(一)</small>	六—九

第四十圖

同上(二)

八一九

追加圖

『人倫訓蒙圖彙』所載珠摺及珠數師圖

六一六

昭和二年三月十日印刷
昭和二年三月十五日發行

定價金八圓

京都帝國大學文學部



版權所有



出雲上代玉作遺物の研究

編輯代表者 濱田耕作

東京市麴町區飯田町二丁目二十一番地

發行者 尾高豐作

京都市下京區柳馬場三條下ル

印刷者 桂千代造

株式會社似玉堂

發行所

東京市麴町區
飯田町二丁目二十一番地

刀江書院

電話九段(一)三七八
振替東京七三一七〇八

正 誤 表

頁	行	誤	正	頁	行	誤	正
序文二	二	短劍・	石・劍	四三	一二	治めたし人	治めし人
目次五	一六五	二三―二四	二四―二五	四七	一四	(8) 忌部村	(9) 玉造村
目次七	四	六〇―六一	七四―七五	四八	一〇	之(例 13 15 61 24)	(10) 通孔したもの
目次七	至自 一七五	八八―九一	一〇二―一〇三	五〇	五	(9) 日本發見玉製	(10) 通孔したもの
目次八	一四	八八―九一	一〇二―一〇三	五〇	一五	(9) 玉祖宿稱	(10) 通孔したもの
目次七	註上	玉祖宿稱	玉祖宿稱	五二	一〇	(10) 玉作湯神社	(11) 發見品
六	一三	玉造湯神社	玉作湯神社	五一	七	至三野城橋一	發見品
六	六	至野城橋	至三野城橋一	五五	一〇	郡家十字街一	辰馬君の性質等に
六	七	郡家十字街	至三玉造街一	五五	一二	至三玉造街一	正倉院文書
六	一〇	至玉造街一	至三來待橋一	五七	二	玉作山	見ても
一〇	八	至來待橋	玉作山	五八	八	正倉院文書	見ても
二三	註下	王作山	Déchelette	六五	一	見ても	(第10圖) 交へた
二七	表	Déchelette	德運場	六六	九	(第10圖) 交へた	交へた
二七	表	德運場	鳥場	七〇	六	交へ	交へた
三六	一六	(圖版第三) 十七 20 21	(圖版第三) 十九 20 21	七四	三	四、八九	四、八六
三八	四	(同圖) 版2	(圖版第 三六) 二	八三	九	四、八六	四、八六
三八	五	(同上) 12	(圖版第 三九) 12	八八	一七	3.24	3.24
三九	八	(5) 生起せしめ	削ル	八九	一六	5.50	5.50
四三	五	生起せしめ	生起せしめ	九九	一六	5.50	5.50

<p>第一冊 肥後に於ける裝飾ある古墳及横穴．．．（大正六年發行）絶版．．．濱田耕作、梅原末治</p>	<p>第二冊 河内國府石器時代遺跡發掘報告．．．．．濱田耕作 河内高安及喜志石器時代遺跡調査．．．．．梅原末治、島田貞彦 河内國府肥後蟲等にて發掘せる人骨．．．（大正七年發行）絶版．．．鈴木文太郎</p>	<p>第三冊 九州に於ける裝飾ある古墳．．．．．濱田耕作、梅原末治、島田貞彦 彌生式土器形式分類聚成圖．．．（大正八年發行）絶版．．．</p>	<p>第四冊 河内國府石器時代遺跡第二回發掘報告．．．．．濱田耕作 河内國府石器時代人骨調査．．．（大正九年發行）絶版．．．長谷部言人</p>	<p>第五冊 備中國淺口郡津雲貝塚發掘報告．．．．．清野謙次、島田貞彦 肥後國宇土郡轟貝塚發掘報告．．．（大正九年發行）絶版．．．濱田耕作、柳原政職</p>	<p>第六冊 薩摩國出水郡出水町尾崎貝塚發掘調査報告．．．．．濱田耕作、島田貞彦 出水貝塚の貝殻獸骨及び人骨．．．．．長谷部言人 薩摩國揖宿郡指宿村遺跡調査報告．．．（大正十年發行）．．．濱田耕作</p>	<p>第七冊 攝津高槻在東氏所藏の切支丹遺物．．．．．新村 出 京都及其附近發見の切支丹墓碑．．．．．濱田耕作、新村 出 切支丹教名合字鞍及南蠻人繪鞍に就いて．．．．．濱田耕作、梅原末治 日本發見銅鏃並銅劍聚成 圖版四十葉其他挿圖（大正十年發行、同十五年再刷）．．．．．定價金七圓</p>	<p>第八冊 近江國高島郡水尾村の古墳．．．．．濱田耕作、梅原末治 日本發見金製耳飾刀劍環頭同鹿角製刀裝具聚成 圖版三十葉其他挿圖（大正十三年發行）．．．．．定價金六圓</p>	<p>第九冊 豊後摩崖石佛の研究．．．．．濱田耕作 圖版八十九葉其他挿圖（大正十四年發行）．．．．．定價金拾貳圓</p>
---	--	---	---	--	--	--	--	--

ERRATA

Title	page	line	5	for	PROVINCE	read	PROVINCE
"			15		discorvered		discovered
Page	i	line	29		its		their
	ii		15		granted		which granted
	iii		15		Bead-wording		Bead-working
	"		24		Sits		Sites
	"		25		Ordance		Ordnance
	iv		10 & 12		23-24		24-25
	vi		13		Magaatama		Magatama
Page	v	after	Fig. 27	to	Fig. 40	insert	page numbers "102-103"
Page	1	line	11	for	vivinity	read	vicinity
	3		21		westes		wastes
	5		8		yet met		yet been made
	7		14		especially they		especially as they
	"		21		material		materials
	"		27		cyrindrical		cylindrical
	9		12		cource		course
	"		23		granet-sand		garnet-sand
	11		4		on the name		the name
	"		21		while those		with those
	12		17		classified		classified
	13		8		rest to content		rest content
	15		1		tranceparency		transparency
	"		6		rounn		round
	"	note	1		jada		jade
	"	note	5		Bullettin		Bulletin
	16		9		clows		claws
	16		11		bearing		wearing
	17		3		word		ward
	"		7		certainely		certainly
	"		8		quantitely		quantity
	"		9		time		times
	"	note	1		The the tables		The tables of
	18		11		peninsular		peninsula
	19		1		ancestoral		ancestral
	"		26		develope		develops
	"	note	5		where denotes		where it denotes
	20		4		of the Imperial Mausolea		of the Bureau of Imperial Mausolea
	"	table	1		Jad.		Jade
	"	"	1		4.89		4.86

ERRATA (II)

Page v line 19 for 60—61 read 75—75.

Page v after Figs. 39—40 insert Fig. 41. A Bead-worker (l.) and a Rosary-maker (r.) from the Jinrin-kunmô-zui. (Published in 1690).

Page 2 line 19 for 玉造街 read 玉作街.

Page 2 line 26 for 玉造湯神社 read 玉作湯神社.

正誤表 (二)

頁	行	誤	正
一其他	五其他	玉造湯神社	玉作湯神社
三三	註上一	太主命	太玉命
三三	註上一	彦狹知命、紀伊國忌部祖也	彦狹知命、紀伊國忌部祖也
五五	一二	二十一里餘	合計二十一里餘
七七	本文五	玉造神社附近	玉作湯神社附近
八八	一八	判む	定む
九九	八	土壞	土壞
一〇	註下	素盞鳴尊	素盞鳴尊
二二	註上	玉造神社々掌	玉作湯神社々掌
二二	註下	探野探幽	狩野探幽
四三	一六	東成郡玉作	東成郡玉造
六八	一	(或は同一の民族が)	(或は同一の民族が)
七一	註上二	壹與與遣	壹與與遣
七一	註上二	白珠五十孔	白珠五千孔
七二	裏	穿へる	穿てゐる
第二十六圖	裏	比重測定の	比重測定表の

REPORTS UPON ARCHAEOLOGICAL RESEARCH

Vol. I. Ornamented Tombs in Higo. ...By K. Hamada & S. Umehara.
47 Plates (1917) (*Out of Print*)

Vol. II. Excavation of a Neolithic Site at Kô.By K. Hamada.
Neolithic Site at Kishi, &cBy S. Umehara & S. Shimada.
On the Human Skeletons found at Kô, &c.By B. Suzuki.
31 Plates (1918) (*Out of Print*)

Vol. III. Ornamented Tombs in Kiushû.
.....By K. Hamada S. Shimada & S. Umehara.
Corpus of the Yayoishiki Pottery.
35 Plates (1918) (*Out of Print*)

Vol. IV. Second Excavation at Kô in Kawachi.By K. Hamada.
Study upon the Human Bones found at Kô. ...By K. Hasebe.
24 Plates (1920) (*Out of Print*)

Vol. V. Excavation of the Shell-Mound at Tsukumo in Bitchû.
Excavation of the Shell-Mound at Todoroki in Hogo....
...By K. Kiyono, M. Sakakibara, K. Hamada & S. Shimada.
53 Platea (1920) (*Out of Print*)

Vol. VI. Excavation of the Shell-Mound at Idzumi in Higo.
On the Shells, Animal Bones and Human Remains found
at Idzumi.By K. Hasebe, K. Hamada & S. Shimada.
A Prehistoric Site at Ibusuki in Satsuma.By K. Hamada.
39 Plates (1921) 4 yen

Vol. VII. Christian Relics found at Mr Higashi's House, north of
Takatsuki, Settsu,By Prof. I. Shimmura.
Tomb-Stones of Christians of the Keichô Era found in
Kyoto and its Neighbourhood....By I. Shimmura & K. Hamada.
Two Horse-Saddles, One with a Coat of Arms consisting
of a Christian Name and the Other with Pictures of
Portuguese Merchants. ...By Prof. K. Hamada & S. Umehara.
Corpus of the Bronze Implements found in Japan.
1 Coloured & 39 Collotype Plates. (1923) 7 yen

Vol. VIII. Ancient Sepulchre at Midzuo, Ômi,
.....By K. Hamada & S. Umehara.
Corpus of Gold Ear-pendants, Ring-shaped Pommels and
Deers' Antler Work Ornaments of the Swords found
in Japan. 1 Coloured & 20 Collotype Plates (1923) 6 yen

Vol. IX. Rock-cut Buddhist Images in the Province of Bungo. ...
.....By Prof. K. Hamada.
77 Collotype Plates (1925) 12 yen

Edited by the Archaeological Institute, Kyoto Imperial University.

Publishers: The Tôkô-shoin, Nakasaka, Kudan, Tokyo.

REPORT UPON ARCÆOLOGICAL RESEARCH
IN THE DEPARTMENT OF LITERATURE, KYOTO IMPERIAL UNIVERSITY
VOLUME X. 1925—1927

**STUDIES ON THE
REMAINS OF ANCIENT BEAD-WORKERS
IN IDZUMO**

WITH THE
TABLES OF THE SPECIFIC GRAVITY OF JADE MAGATAMA, &c.,
FOUND IN JAPAN AND IN KOREA
APPENDIX: CORPUS OF THE POLISHED STONE
ARROW-POINTS AND DAGGERS FOUND IN JAPAN



THE KYOTO IMPERIAL UNIVERSITY

PUBLISHED
BY
THE TÔKÔ-SHOIN, TOKYO

1927